

(様式 3)

水源環境保全・再生かながわ県民会議 事業モニター報告書

事業名 県内ダム集水域における公共下水道の整備促進  
県内ダム集水域における合併処理浄化槽の整備促進  
報告責任者 坂井マズミ

実施年月日 平成 25 年 10 月 17 日(木)  
実施場所 相模原市緑区又野(下水道)、相模原市緑区小淵(浄化槽)  
評価メンバー 足立 功、井伊 秀博、五十嵐 淳一、井上 貞子、金森 巖、  
久保 重明、木平 勇吉、坂井 マズミ、高橋 克矢、中村 洋介、  
増田 清美、青砥 航次(オブザーバー参加) 計 12 名  
説明者 相模原市津久井下水道施設課 職員

事業の概要

・ねらい ダム湖に生活排水が流入する現状を改善するため、ダムの集水域にある市町村が実施する、公共下水道整備と、窒素・リン除去性能の高い高度処理型合併処理浄化槽の導入を促進しダム湖水質の改善を目指す。

・内容

下水道整備：相模原市内のダム集水域にある下水道整備区域(1227ha)について、平成 38 年度までに、計画区域内 1227ha、普及率 100%を達成する。平成 28 年度までに、計画区域内 208.7ha、普及率 86%を達成する。新たに拡充する部分で、追加でかかる費用のうち、国庫補助を除く公費負担にあたる金額を支援する。

合併処理浄化槽：平成 38 年度までに、ダム集水域内全域で高度処理型浄化槽を普及させる(相模原市内 7400 基)ため、平成 24~28 年度の 5 年間に相模原市で 1000 基、山北町で 90 基、計 1090 基を設置する。

市町村設置型／設置費用の国庫補助及び個人負担を除く公費負担相当額、維持管理費、既存撤去費を含む付帯工事費

個人設置型／本来 3 分の 1 である公費負担額の 50%相当、個人負担の 50%相当、奨励金、既存撤去費を含む付帯工事費の 50%

※ うち相模原市 平成 19~24 年度の設置完了は 485 基。

年間実績は平均 80~90 基で、同市目標である平成 31 年度までに 7,400 基設置する計画達成は困難。

・実績 下水道整備： 普及率 55.1% (整備面積 30ha) 3 億 2350 万円  
平成 24 年度 平成 25 年度計画：普及率 67%

※ 道路境界未確定による事業進捗が遅れている。

相模原市 合併処理浄化槽： 市町村設置型 82 基 1 億 5280 万円  
個人設置型 0 基

評価結果	評価点
<p data-bbox="177 159 319 203">共通項目</p> <p data-bbox="177 203 462 248">① ねらいは明確か</p> <ol data-bbox="209 248 1249 450" style="list-style-type: none"> <li data-bbox="209 248 1249 338">1. 人口密度が低い整備が遅れたダム集水域で、下水道と浄化槽の整備区域を定めて、促進を支援するというねらいは明確（全員一致）</li> <li data-bbox="209 338 1249 383">2. 助成により設置しやすくするというねらいは明確</li> <li data-bbox="209 383 1249 427">3. 経費と改良の質や量との調整点が不明</li> </ol> <p data-bbox="177 495 494 539">② 実施方法は適切か</p> <ol data-bbox="209 539 1249 1122" style="list-style-type: none"> <li data-bbox="209 539 1249 584">1. 地形や実情に応じて対象区域を見直し実施していて適切。（4名）</li> <li data-bbox="209 584 1249 674">2. 下水道整備が、説明や道路境界の確定など、整備以前の障壁のため、時間と経費がかかっている。（4名）</li> <li data-bbox="209 674 1249 719">3. 浄化槽整備を、自治会と連携して進める方法は、適切。（4名）</li> <li data-bbox="209 719 1249 808">4. 地域の方々に単に説明するだけでなく理解を求め、啓発と啓蒙を進めることが大事であり、先決である。（2名）</li> <li data-bbox="209 808 1249 898">5. 浄化槽整備区域を地道に調査によって実情を把握し、優先順位をつけ、リニア構想にかかる地域を対象から外すなど、適切（2名）</li> <li data-bbox="209 898 1249 943">6. 役所内の作業や分担の見直しによって解決できる障壁がある。</li> <li data-bbox="209 943 1249 987">7. 浄化槽の製造業者が実質1社で選択肢がない。</li> <li data-bbox="209 987 1249 1032">8. 設備業者とその方法も適切である。</li> <li data-bbox="209 1032 1249 1077">9. 山間部の下水道接続にポンプアップが多いのは、脆弱ではないか。</li> </ol> <p data-bbox="177 1144 494 1189">③ 効果は上がったか</p> <ol data-bbox="209 1189 1249 1682" style="list-style-type: none"> <li data-bbox="209 1189 1249 1279">1. 道路境界や住民の費用負担の問題、相模原市の中での予算や人員の配分不足などにより、進捗状況はよくない。（3名）</li> <li data-bbox="209 1279 1249 1368">2. 整備により改善が進んでいくと考えられるが、現状の進捗状況では、明らかに効果が上がっていることは確認できない。（2名）</li> <li data-bbox="209 1368 1249 1413">3. 進捗が遅く、目に見える効果はないが、長期的には上がる。（2名）</li> <li data-bbox="209 1413 1249 1458">4. 中長期的な見通しや工夫が必要。現時点では判断できない。（2名）</li> <li data-bbox="209 1458 1249 1503">5. 速度は遅いが着実に成果を挙げている。（2名）</li> <li data-bbox="209 1503 1249 1547">6. 効果は今後期待できる。</li> <li data-bbox="209 1547 1249 1592">7. がんばっているが、目標には到底到達できず期待もできない。</li> <li data-bbox="209 1592 1249 1637">8. 住民との協働は有効。</li> </ol> <p data-bbox="177 1704 590 1749">④ 税金は有効に使われたか</p> <ol data-bbox="209 1749 1249 2063" style="list-style-type: none"> <li data-bbox="209 1749 1249 1794">1. 有効（2名）</li> <li data-bbox="209 1794 1249 1839">2. 概ね有効。無駄には使われていない。（3名）</li> <li data-bbox="209 1839 1249 1883">3. 今のところ有効。有効に使われつつある。（2名）</li> <li data-bbox="209 1883 1249 1928">4. 判断がつかない。評価しにくい。不明。（3名）</li> <li data-bbox="209 1928 1249 1973">5. 有効とは言えない。</li> <li data-bbox="209 1973 1249 2018">6. PR活動にも使われるのか。</li> </ol>	<p data-bbox="1249 248 1461 293">5点：2名</p> <p data-bbox="1249 293 1461 338">4点：8名</p> <p data-bbox="1249 338 1461 383">3点：2名</p> <p data-bbox="1249 539 1461 584">5点：3名</p> <p data-bbox="1249 584 1461 629">4点：5名</p> <p data-bbox="1249 629 1461 674">3点：4名</p> <p data-bbox="1249 674 1461 719">2点：1名</p> <p data-bbox="1249 719 1461 763">重複あり</p> <p data-bbox="1249 1189 1461 1234">5点：2名</p> <p data-bbox="1249 1234 1461 1279">4点：0名</p> <p data-bbox="1249 1279 1461 1323">3点：10名</p> <p data-bbox="1249 1323 1461 1368">2点：1名</p> <p data-bbox="1249 1368 1461 1413">重複あり</p> <p data-bbox="1249 1749 1461 1794">5点：1名</p> <p data-bbox="1249 1794 1461 1839">4点：3名</p> <p data-bbox="1249 1839 1461 1883">3点：7名</p> <p data-bbox="1249 1883 1461 1928">2点：1名</p>

## 個別項目

### ① 上流対策

1. 上流域対策 有効であり、大切。(3名)
2. アオコ対策費 費用対効果の検討を
3. その他 住民意識の向上が大切(3名)

5点：1名  
4点：4名  
3点：4名  
2点：2名  
1点：1名  
—：1名  
重複あり

### ② 合併処理浄化槽

1. 費用と計画 個人負担の大幅軽減を。(1名)  
融資制度などの整備を(2名)
2. 大型施設 効果の高い大型施設の整備は優先的に推進(2名)
3. 地域との関係 意識向上を図りながら進めている(2名)
4. その他
  - (1) 目標・計画・進捗の乖離  
かけ離れているので計画は見直しも必要。
  - (2) リニアによる見直し  
集団移転予定2地区の見直しによる他地区への波及、地下水への影響、事業の遅れはないか。

### ③ 下水道整備

1. 道路境界等による進捗の遅れ 地道な努力は評価する(5名)  
まず人員・予算確保、道路部署の対応の改善を。(3名)  
市の総合計画、長期計画との整合性を。
2. 住民の負担 道路境界の確定に伴う住民負担の軽減を。
3. 地形とシステムの脆弱性 ポンプアップ箇所が多いので危惧する。
4. その他 地元住民の意識向上が大切。

## 総合評価

### ① 上流対策全体

課題に対して人員・予算・手続きが不十分。更なる工夫を。(3名)  
県民全体に、もっと上流への配慮と認知が必要。(3名)  
住民との対話、意識向上のためのPRや仕掛けを。(3名)  
後世に残るものなので、災害や長期見通しなどの説明を。(2名)  
少ない職員で努力している上流に感謝を。(2名)  
施策の進め方や目標は明確。  
住民の疑問に答えるパンフや戸別説明など、努力がうかがえる。  
強硬に進められない状況ではあっても、迅速化を期待。  
森づくりと同様、長時間にわたり継続的に。  
相模原市は、長期的財政と水質向上の方針の説明を。

5点：2名  
4点：4名  
3点：5名  
—：1名

### ② 合併処理浄化槽

市町村設置型で長期に発生する高額維持費用問題の検討を。(3名)  
当事者との接点を大切に、地道な努力がうかがえる。(2名)  
現状に不自由していない住民の理解は課題。働きかけを。(2名)

現実的な展開である。

更に設置の増進を。

より小型で安価な浄化槽の研究開発を。

個人負担が軽減できるような対策を。

行政でなければできない事業である。長期間にわたり継続を。

### ③ 下水道整備(道路境界確定作業)

デリケートな問題なので、住民目線で。(2名)

地元住民に排水の実態と影響を知ってもらい、意識向上を。

境界の問題には、役所の縦割りの克服も必要。

下水道は、困難な中、地道な努力があるので進展が見込まれる。

行政でなければできない事業である。長期間にわたり継続を。

住民負担の少ない方法を。

### ④ モニター

1. 市担当者の積極さ熱心さが評価できる。(3名)

2. 時間をかけて説明を受け、有効であった。

3. 説明も丁寧で真面目でよく理解できた。

4. 一方、県の役割と方針が不明。

5. 道路事業の遅れ、不確定要因、引き継ぎ等、現場の大変さが気になる

6. 評価する委員側が、準備不足と勉強不足があった。

## 報告者責任者まとめ

### ① 事業モニターのあり方

平成 25 年度から、本事業モニターは、実施後を見て点数をつけることに加え、積極的に、問題がある現場や、新規の事業を見に行くことになった。

### ② モニター対象

そこで今回は、現地と作業の出来不出来だけを評価するのではなく、相模原市の取り組み状況も、モニターの対象である。

### ③ 問題の所在

地域の意識、役所内の事務、高齢化、地域経済、支援策不足など、幅広く存在する。

### ④ 地域の事情

ダム工事等、水源地域ならではの負担を背負ってきた地域であり、相模原市役所は調査や説明など、地道な努力をしている。

### ⑤ 目標設定

整備目標は、相模原市との合意に基づき、県民との約束であるが、これまでずっと、整備実態との間には、常に乖離が生じている。

### ⑥ まとめ 今後事業を展開する上で何が必要か

1. 相模原市役所は、目標達成のために現実的な体制を整え、将来の問題等も含めて、総合的に説明していくことが大事である。
2. 県は、地域の事情を踏まえ、説明や啓発を相模原市役所のみにならせず、県内全域との交流や、感謝を伝える機会を増やすなど、住民意識の向上を意識して、視野を広げた複合的な対応をする必要がある。
3. 目標が過大かも含め、進め方と目標のあり方の両面から検討する必要がある。

1 共通項目  
ねらいは明確か

委員	評価・疑問提起・改善示唆	評価点
青砥	相模湖・津久井湖への集水区域にある今回のモニター地は水源環境対策では重要でありながら、地域の人口密度は低く、施策に関わる費用対効果でのバランスが問われている。相模原市の施策は妥当と思われる。	4
足立	集水域の下水道・浄化槽を整備することによって、ダム湖の富栄養化を防ぐというねらいは、明確である。	4
井伊	平成18年の合併前の旧4町で ダム取水にかかるエリアにおいては下水処理が遅れており、当事業でダムに流入する排水処理を進めようとしているねらいは明確である。	4
井上	水源環境をよくするための事業のねらいは明確です。 21年度から市設置の浄化槽にシフトし、維持管理は行政が行い、工事の一部を負担するだけで浄化槽本体が設置できるので、設置しやすくしている。	3
五十嵐	【小淵地区】家屋の点在・地形の起伏を考慮し浄化槽整備区域を定めて整備している ねらいは明確である。 【又野地区】明確である。	(両地域共に) 4
金森	ダムの水質悪化と集水域の下水道との因果関係は明確になっているので、この整備事業の狙いは明確である。	3
久保	家庭や工場から流れ出る排水が相模湖、津久井湖そしてダム湖などの水環境を悪くしているのは明白で、下水道そして高度処理型浄化槽を整備し、改善を図っており狙いは明確である。	5
木平	水質の改良である。しかし経費の量と改良の量(質)との調整点が不明	4
坂井	下水道整備地域の縮小に伴い、①浄化槽の性能を改善すべき地域と②下水道を普及させる地域を明確にし、①地域で現地調査を実施して実情を把握し、②下水道未接続地域では道路との接続状況を明らかにしつつある。 (①小淵地区、②又野地区)	4
高橋	明確である。	4
中村(洋)	河川水質改善のために集水域の公共下水道と高度浄化槽の促進を目指していることがよく理解できた。	5
増田	水質保全の観点から下水道及び浄化槽整備事業は必要であり、その整備促進を行うことは明確である。	4

実施方法は適切か

委員	評価・疑問提起・改善示唆	評価点
青砥	概ね妥当と考えられるが、藤野地区まで広域下水道に接続するために、山間部であるゆえに多くの箇所ポンプアップが必要になっている。システム的に脆弱性を招いているのではないかと。	4
足立	事業対象地域を地形と人口密度を勘案して2つに分け、効率的に行える区域では下水道を、非効率な区域では高度処理型浄化槽を整備するという方法は適切である。	4
井伊	地理・地形上の条件等を考慮し、公共下水道と高度処理型浄化槽を使い分けて適切に進めている	4

平成25年度第2回事業モニター評価一覧

参考資料

委員	評価・疑問提起・改善示唆	評価点
井上	藤野台（138戸）自治会の自治会長が推進を取りまとめ、行政との連携プレーは適切であった。今後、他の地区も自治会との連携を強くして、啓発と啓蒙で住民の意識の向上を図って頂きたい。	3
五十嵐	【小湊地区】自治会と連携をとり効率的に施行を進めている。 【又野地区】道路境界を確定するところから始めなければならない、思わぬ時間と経費がかかっている。	4 2
金森	【小湊地区】第1、2期に分けて、優先順位を付け、またリニア構想での移転地区を早々に外すなど無駄のないように進めている。設備業者とその方法も適切である。 【又野地区】道路境界や用地の取得など必要なことにコツコツと取り組んでいる。	(両地域共に) 3
久保	津久井、藤野地区などの起伏の富んだ地形では高度処理型浄化槽整備を行い従来の下水道管整備の場所を分け施工を行っており、経費や時間の点から適切である。	5
木平	現実的な対応であり、努力をかいたい	4
坂井	【小湊地区】藤野台自治会と担当部署の良好な関係が、一団の分譲地の排水改善の道を拓いている。丁寧な仕事ぶり。 【又野地区】下水道以前の道路や土地に関する情報の問題だけでなく、役所内の作業分担には改善の余地が大きい。	5
高橋	フジクリーンだけの民間事業者に依存する状態をなくし、住民の税金の有効利用の観点からも複数の選択枠を設けるべき。	3
中村（洋）	公共下水道では道路境界画定などの障壁、高度浄化槽では個人宅や自治会への説得など担当者が苦勞しながら進めていることが確認できた。	5
増田	先ず、実施する必要性を住民に説明することから始めているようだが、地域性もあり、理解して貰うことが先決なのは大事なことと思う。	3

効果は上がったか

委員	評価・疑問提起・改善示唆	評価点
青砥	藤野台自治会の例では、自治会主導で整備が進められている点で、住民と行政の協働ができており、有効であると感じた。	5
足立	整備により排水の水質は改善しており、一定程度の効果はあがっていると考えられるが、ダム湖の水質指標に顕著に現れるまでには至っていない。	3
井伊	高度処理型浄化槽の設置数は現状で計画の6%程度であり、それがダムの水質改善に現れているかは不明であるが設置台数を着実に増やしていくことで将来的に水質改善につながると思われる。	3
井上	浄化槽設置前と後の下水の水質検査の回数・場所など、効果の上がったデータを公表する事で納得出来ますし、公共施設や大型事業所の浄化槽の推進になると思われる。一方、ダム湖の水質改善は（エアレーション・植物浄化）汚濁負荷を把握しないと事業の効果の寄与率がわからない為、評価しにくい。	3

平成25年度第2回事業モニター評価一覧

参考資料

委員	評価・疑問提起・改善示唆	評価点
五十嵐	【小湊地区】市民の高度処理浄化槽への理解や個人負担の高額さが相まって難航している。	2
	【又野地区】現時点では水源に直接影響を与える旧4町の下水道整備率が低いため、今後の効果が期待できる。	3
金森	データあるいは目に見える効果は出ていないが、課題が明確になってきている。	3
久保	平成31年高度浄化槽設置目標（7,400基）に対して毎年80～90基では到底、到達できないと思われる。がんばっているが、当然水質の浄化の効果も期待できない。	3
木平	長期的には上がると感じた	3
坂井	もっと予算と人員のあり方を工夫することで、水源環境税がある間にどこまでの成果があがるか見通しを立てる必要がある。担当部署は地道に丁寧に仕事をしており、速度は遅いが効果は上げている。	3
高橋	中長期的な判断が必要。 よって、現時点では適切な判断は出来かねる。	3
中村（洋）	未処理の排水の多くがこれまではそのまま河川に流れ、ダムに溜まっていたことを考えると、地道な活動ではあるが、着実に成果を上げている。	5
増田	下水道整備事業は道路境界の問題、浄化槽事業は個人負担の問題等で進捗状況としては良くない。	3

税金は有効に使われたか

委員	評価・疑問提起・改善示唆	評価点
青砥	概ね良好	5
足立	進捗率に遅れがみられるが、事業の推進に不可欠な住民の協力を得るために地道な努力を重ね、事態打開の道筋は見えてきているので、おおむね有効と考える。	4
井伊	ダム取水域の水質改善に有効な事業であり、計画も明確で、税金は有効に使われていると思う。	4
井上	平成25年3月31日までに市設置浄化槽347基、事業費192億円、水源税から浄化槽整備事業に有効に使われていると思います。	3
五十嵐	【小湊地区】現時点では高度処理浄化槽の普及率が低く、河川や湖の水質改善を確認できていないようであるが、普及率が上昇すれば確実に水質の改善が見られると思う。 【又野地区】結果は出ていないが、有効に使われつつあると思う。	(両地域共) 3
金森	無駄には使われていない。	3
久保	設置目標数に対して到達がかなり難しいようで、目標に沿って税金を投じようとしており、達成できないことは有効に使われているとは言えない。また逆に初めの目標が過大だったのか判断がつかない。	3
木平	分析不足で評価しにくい	2



委員	評価・疑問提起・改善示唆	評価点
坂井	市街地以外の排水対策としては、着手して間もなく進捗状況も今後の展開次第。地域の人口減少は始まっており、市町村設置型の浄化槽の増加がどの程度下水道会計や一般会計に影響を与えるかも含め、今後も注視されたい。	3
高橋	事業の開始期間が浅いため、有効性は不明。	3
中村 (洋)	高度浄化槽などの補助金に対して使われており、現段階では有効に使われていると思う。しかし、より安価な浄化槽の開発などを考えなければならない。	4
増田	住民意識向上のためのPR活動を行っているようだが、啓発ポスターや設置パンフレット作成にも使用するのか。	3

2 個別項目

委員	評価・疑問提起・改善示唆	評価点
青砥	<p>【上流対応】</p> <p>高度処理型浄化槽事業について、地域の人口密度は低く、施策に関わる費用対効果でのバランスの関係から、大いに推進すべきだと思いと共に、藤野地区まで広域下水道に接続している地域があることは、山間部であるゆえに多くの箇所でポンプアップが必要になっている。システムの脆弱性を招いているのではいかとの危惧を覚えた。</p>	4
足立	<p>【浄化槽整備】</p> <p>地域の諸状況を配慮して高度浄化槽設置を増進することにし、効果の高い推進地区・大型施設・公共施設から順次設置していくとともに、啓発ポスターや設置パンフレットの配布で市民意識の向上を図りながら事業を進めているので、評価できる</p>	4
井伊	<p>【住民意識】</p> <p>自分たちの生活排水を下流の生活者が生活用水として利用していることを考えれば自らの生活排水を適切に処理して下流に流すことが 同じ流域に暮らす流域住民として あるべき姿だと思います。 こうした考えは既にこれまでも市から市民に広報して来ていると思いますが、加えて現状からの意識改善を促す市民の側からの活動の仕組みを作っていけば、市が施策を進める上で 強力な追い風になると思います。</p>	3
井上	<p>【水質処理の改善】</p> <p>水源地域での生活排水対策として油、塩酸、消毒剤など流さない、汚れは拭いた後に洗うなどの市民への啓発活動を活発化し、水質調査地点を決定し、調査の実施回数を増やす事も必要である。 雨水貯水貯留浸透施設設置を促す事も、水質改善につながる。</p> <p>【アオコ対策】</p> <p>エアレーションによるアオコ対策の説明を聞き、その効果対費用の検討してみる事も課題の一つです</p>	—
五十嵐	<p>【小淵地区】</p> <p>計画目標年度・計画設置基数と進捗率があまりにも懸け離れているので、計画の見直しが必要になると思うが、事業費の確保・市民の啓発・理解・意識の向上を促進し、長期的な視点にたって事業を進めて頂きたい。</p> <p>【又野地区】</p> <p>道路境界や用地確保等の問題で施工が困難な状態であることが良く理解できたが、費用・人員確保を強力に推し進め施工を完遂して頂きたい。</p>	(両地域共に) 3
金森	<p>【小淵地区・費用と計画】</p> <p>地元住民の金銭的な負担を大幅に低減あるいはゼロにするスキームが必要と思う。</p> <p>【又野地区・地元住民】</p> <p>地元住民にもっと水源環境の保全に対する重要性を理解してもらう必要がある。</p>	(両地域共に) 3

委員	評価・疑問提起・改善示唆	評価点
久保	<p>【下水道事業】 道路境界が明確でないことが、工事に支障がでることは十分に理解できる。住民の理解を得るために集会を何度も開き、粘り強くやるしかなくその地区全体のムードの醸成が第一と思う。本来境界画定は道路課の仕事と理解している。</p> <p>【高度処理型浄化槽事業】 5人槽でも30人槽でも個人負担があり、高齢者の家庭では大変な負担だと思ふ。理解を得ることと金利の低いローンでの考慮など市の努力が期待される。</p>	(両事業共に) 4
木平	<p>【道路境界の明確化】 手近な課題を着実に解決する努力は、高く評価できる。市の総合計画と長期計画との整合性は不明</p>	4
坂井	<p>【小淵地区・上流の当事者が抱えている問題と要望】 3年間かけて藤野台自治会が主導して、全138世帯(現住127)全域を合併処理浄化槽に移行するようとりまとめを行い、今後3年計画で工事を進め、雑排水集中沈殿槽の撤去を目指す。住民の中には、宅内工事や付帯工事費用を一括で払うことが厳しい方があるので、3年間で全部の合併処理浄化槽設置が終わるとは考えにくいとのご意見があった。工事業者に地元市中金融機関と提携した分割払いなど、施主の状況に合った提案が必要</p> <p>【又野地区・本来下水道担当部署がするべきでない事務作業の負担】 進まない理由を、土地独特のしがらみのようなものかと思っていたが、実はそれが道路境界確定のために増える事務量の問題であった。道路中心や入口の土地の杭がなければ、奥の土地の境界も決まらない。事業以前の、基本的な事務における役所内の連携強化が先決である。</p>	2  1
高橋	<p>【境界線問題】道路境界に係る土地所有者の登記簿の照合手続きや付随する事務に対応する職員不足や高額な登記変更費用に係る住民負担軽減策の未整備など非常に問題があるように見受けられた。 道路境界で今まで問題なく整備が進んでいるとの説明であったが、登記変更に迫られる住民は本当に納得のいく状態にあるのか、疑念が残るものである。</p>	3
中村(洋)	<p>【上流対応】山間部ならではの地形的制約がある中で、これまでの住民や自治会への説得、道路境界画定などの障壁に対して担当者が地道に取り組んできた成果があらわれている。時間がかかる作業であることが理解できた。</p>	5
増田	<p>【集落移転問題】リニアのために13地区ある内、2つの集落が移転する問題が浮上と聞いた。その地域は自治会と合併浄化槽の導入で進めていたが、今年度の調査は保留としたと説明があった。それに関して他の地区に波及しないのか、事業の遅れや地下水の影響はどうか。 【大型事業所の設置推進】水質改善効果大というが、具体案は示されなかった。方針(案)ではなく、早めの実施して欲しい。</p>	2

### 3 総合評価

委員	内容	評価点
青砥	<p>神奈川県民の多数が享受する質の良い水道水について、上流部で生活を営む比較的少数の人たちが大きな役割を担っている。 この人たちに、このためのストレスがないように努めるのが一般県民の役割であろうと思われる。 この点、相模原市で行われている事業は評価しなくてはならない。 下水道の整備について、土地区画の境界確定が遅れているのは、土地柄から理解できないことはないが、役所の縦割り弊害を無くし、多くの住民の理解を得てスムーズに進むことを期待する。</p>	4
足立	<p>相模原市は町村合併により市域が拡大し、ダム集水域を大幅に抱え込むことになった。そのため下水道整備では道路境界未画定という事態に直面し、事業の進捗の障害となっている。しかし、住民との折衝をかさねることにより事態解決の目途はついており、今後の進展が見込まれる。 また地域の事情に適応した高度浄化槽設置を、従来の個人設置型から市設置型に切り替え、高い効果が見込まれる地域・施設から順次進めていく現実的な具体策を、展開している。</p>	4

委員	内容	評価点
井伊	<p>市の施策の進め方は目標も明確で、現状を把握し其々の地域状況に合わせて対処しておりその姿勢と評価できます。ただ 改善すべき対象に対してマンパワーはやはり十分とは言えず、結局時間がかかっても今出来るだけのことを地道に進めていく手段を取らざるを得ないという状況だろうと拝察しました。その意味で事業の進め方にもう一工夫ほしいと思いました。</p> <p>資金・マンパワーの大幅な増加が なかなか望めない状況だと思いますが、ここでもし市民の側から 生活排水について考え、排水浄化への意識を改善しよう動きが形態はどうあれ出てくれば、市の施策の強力な追い風になると思います。個々の現場に求められる調整や交渉等々にも 良い効果をもたらしてくれるはずです。</p> <p>そうした 市民側の仕組みづくり・語らいの場づくりを 行政側から仕掛けて進めてはいかがでしょうか。</p>	3
井上	<p>市設置浄化槽が3月末現在347基、平成31年度の目標達成まで年間80～90基の設置で進捗している状況ですが、行政と住民の協力が融合しながら設置数を年次増進させて頂きたい。</p> <p>高度浄化槽からの流末を水路・公道・家の敷地など、道路の原点から測定し、境界を確定することが先決で、次に下水道整備事業になると考えます。地権者と自治会全体とタイアップした大変な工事であるが、(25年度は13地区の下水道推進を目標との事)活発に推進する自治会への取組の強化と連携が大切と思われます。水源環境をよくする住民の意識と行政のリードが、ダム汚染負荷の削減に繋がると思います。また、浄化槽を設置しやすくする為の個人負担の緩和を考慮して頂きたいと思います。</p> <p>後世に残す整備事業の為、地震(天災)や浸水対策(リスク)を始め、事業の継続が長期化・多額な経費を伴うことを考えると、納税者に事業実施状況の実績と効果、総合計画を公表して頂きたい。</p> <p>ダム集水域のチッソ・リンの除去、アオコ対策が県民に認知されやすい水源の里づくりの整備事業を県民あげて応援したいと思います。</p>	—
五十嵐	<p><b>【小湊地区】</b> この事業は森林やシカ等の自然が相手ではなく、人間が相手であり水源住民の排水に対する意識の向上が求められている。自分が使用した水が何処を流れ、環境や下流域の生活にどのような負荷を与えているのかを認知しなければ水質の改善は望めない。</p> <p><b>【又野地区】</b> 高度処理型浄化槽事業と同様に下水道事業も「人・金・手続き」の問題で施工が難航し、何とも歯がゆい思いである。</p> <p>県条例・市条例で強力にバックアップすることは出来ないのでしょうか。</p>	(両地域共に) 3
金森	<p>森づくりと同様に長期間にわたり継続的に実施してください。</p> <p><b>【小湊地区】</b> 設置や管理とその費用など、行政の負担も大きいと思いますが、行政でなければできない事業と思います。</p> <p><b>【又野地区】</b> 境界の確定に伴う調整や用地の取得など、行政の負担も大きいと思いますが、行政でなければできない事業と思います。</p>	3
久保	<p>数少ない市の担当職員で下水道整備及び高度処理型浄化槽事業を進められており、下流でその恩恵を受けている我々としてはまずは感謝したい。また下水道事業も高度処理型浄化槽事業も人間関係の濃密な地域で強硬に進められない状況があるのは容易に想像できる。しかし何とか説得と理解を得て迅速に進めることを期待したい。</p> <p>高度処理型浄化槽では設置した槽に対してリンと窒素の接触盤の交換等の維持管理費に65,000円/年の支払いが発生するとのことで、相模原市全体での負担はかなりのものになるので、どう軽減するのか検討課題だと思った。</p>	4
木平	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間をかけて説明を受けたので、モニター自体は有効であった。</li> <li>・説明も丁寧で真面目でよく理解できた</li> <li>・市担当者の積極さと、熱心さは高く評価できる。一方、県の役割と方針が不明であった</li> </ul> <p>※ 長期的な財政や、水質向上目標について基本的な市の方針の説明が望まれる</p> <p>※ 住民との対話や意識向上の為のPRの努力が望まれる</p> <p>※ 評価する委員会の準備不足、知識の不足が露呈した印象を受けた</p>	4

委員	内容	評価点
坂井	<p>【目標の明確さ】 「これら事業によって、飲み水をきれいにしたい。そして地域の人々の生活も改善したい。くみ取りトイレのままでは年をとって住み続けることは難しいし、流しっぱなしは互いに迷惑を掛けあっている状況。それが7割という地域は、なくしたい」というお言葉を、水を受け取る者の一人として心から嬉しく思う。</p> <p>【着眼・発想のよさ】 新たに処理槽を入れるには敷地の広範囲の掘り上げや既存槽撤去などの問題があるが、そうした話の間にも、もっと製造者に小型化を要望したい、相模原独自の規格を作りたいと、次々にアイデアが出てくる職場の士気は素晴らしい。 また公共施設に浄化槽を設置すれば、災害時の下水道復旧に左右されず施設の自立を維持できるという言葉は何度も聞いたことは本当に頼もしい。</p> <p>【当事者との接点の大切さ】 藤野台団地の話し合いの経緯や進め方をうかがうと、地域の指導力や自主性の高さが感じられるし、それをきちんと受け止めた市役所の対応も伝わってくる。</p> <p>【健全な相模川流域は県民の財産。水を受け取る地域の言葉も伝えて欲しい】 上流の排水を下水道で下流に送ることは、相模川を更にいびつにする。浄化槽からの排水が涵養されることが、後世に健全な流域を渡すことでもある。また、相模川の流域が、900万県民の6割540万人分の生活を支えてくれていることは、上流の皆さんに一番知っていただきたいことである。</p> <p>【進捗を阻む基礎要件の不備は、県も市もできることからみんなで協力しよう】 又野地区・道路境界が定まらない相模原市立尾崎弔堂記念館の底地所有者が県であること一つ見ても、まず神奈川県、次に相模原市役所内にも、できることがある。</p> <p>【良くも悪くも次世代に残る】 下水道は資産と地域の価値を高めるが、過疎傾向の地域では財政上の負担が大きい。後世の負担が大きくなるよう、長期的な視点を大切に進めて欲しい。</p> <p>【これからも浄化槽の自主管理と集中浄化槽(コミュニティプラント)の推進を】 藤野台においても、まず下水道接続は遠すぎる、山梨県上野原市の下水道では高度処理ができず、集中浄化槽は国・県の補助金が採択条件に合わなくて、最終的に個別の浄化槽設置という結論に至っている。市町村の個別浄化槽管理を増やすことは後世の負担増にも繋がるので、できるだけ集中浄化槽や自主管理へ誘導し、設置が進めやすい助成制度を検討する必要がある。</p>	5
高橋	<p>全国的に社会保障費用が増加している中で、相模原市が生活排水処理施設の整備促進を名目に推進している浄化槽数増加が達成すれば、それに伴い固定管理費用が増加し、近い将来、市の財政を圧迫する要因の一つとなる。無対策でこのまま推進すれば、近い将来、県に支援を求める状態を容易に想像できる。 浄化槽整備事業の推進と固定管理費用の圧縮を同時に行い、次世代の住民負担を軽減する視点も併せ持った事業推進を切に願うものである。</p> <p>道路境界問題で生じる固定資産税の増減や登記簿の変更で住民負担が生じないような対応策を精査する必要があると感じる。民事上境界問題はデリケートな問題であり、慎重に慎重を重ねた行動が必要であると考え。ひとたび、訴訟や近所トラブルになれば、そこに住む住民の生活に大きな禍根を残すことになる。市担当者には当事者意識の欠落を再考し、真の住民目線で取り組んでもらいたいものである。</p>	3  3
中村(洋)	<p>担当者の誠実で地道な取り組みが水質の改善とその目標に漸増ではあるが着実に進んでいる。率直に担当者と設置者に敬意を表しなければならない。 一方で、すべての家屋・施設に下水道や高度浄化槽を設置するには、このペースであると目標が達成できない、あるいは相当な税金が必要になるのではないかと思われる節もある。そのためには、より安価でかつより小規模な浄化槽の開発が欠かせない。そのための研究開発に力を入れてもよいのではないか。 また、地域住民(子ども)への環境保全に対する普及啓発が必要ではないかと思う。その教育による普及啓発が地域の水質改善に対するエンパワーメントを生むのではないか。</p>	5

委員	内容	評価点
増田	<p>整備実例(藤野台自治会)として藤野台団地の整備場所を見学した。ここは自治会主導で交渉がうまくいった例としての説明があったが、30有余年前に造成されてから住んだ人達とずっと住んでいる住民を比較するのは難しい。長いこと、下水道完備されていないなくても特に不自由と感じなかった人たちに事業をどう理解してもらうかが課題である。</p> <p>市の説明では「住民が聞きたい内容をパンフにしたり、1軒1軒回って説明して住民の安心感を得ている」と地道な努力はうかがえる。一方、①道路事業をやっていたことを痛感②3年計画だがはっきり言えないのが残念③担当する市職員は替わってしまうが引き継ぎをきちんとしたい、と現場の大変さを感じさせられる発言が気になった。</p>	3

4 実施実務のチェック (資料は理解できたか・現地の状況は理解できたか・説明は理解できたか)

委員	内容
青砥	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料は理解できたか (適)</li> <li>現地の状況は理解できたか (適)</li> <li>説明は理解できたか (適)</li> </ul>
足立	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料は理解できたか (適)</li> <li>現地の状況は理解できたか (適)</li> <li>説明は理解できたか (適)</li> </ul>
井伊	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料は理解できたか (適)</li> <li>現地の状況は理解できたか (適)</li> <li>説明は理解できたか (適)</li> </ul>
井上	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料は理解できたか (適)</li> <li>現地の状況は理解できたか (適)</li> <li>説明は理解できたか (適)</li> </ul>
五十嵐	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料は理解できたか (適)</li> <li>現地の状況は理解できたか (適)</li> <li>説明は理解できたか (適)</li> </ul>
金森	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料は理解できたか (適)</li> <li>現地の状況は理解できたか (適)</li> <li>説明は理解できたか (適)</li> </ul>
久保	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料は理解できたか (適)</li> <li>現地の状況は理解できたか (適)</li> <li>説明は理解できたか (適)</li> </ul>
木平	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料は理解できたか (適)</li> <li>現地の状況は理解できたか (適)</li> <li>説明は理解できたか (適)</li> </ul>
坂井	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料は理解できたか (適)</li> <li>書類と現地を見せるだけでなく、そこで暮らす方々をご紹介いただけた。</li> <li>現地の状況は理解できたか (適)</li> <li>今回、藤野台自治会の副会長さん方お二人に、水洗化した自治会館のトイレと新しい浄化槽(7人槽)をご案内いただきながら直接お話をうかがうことができた。これは相模原市役所が地域の皆さんに丁寧に接していることの証左である。こうして当事者(所有者)と直に接し声を聞くことは大切で、モニターには不可欠であると思う。</li> <li>説明は理解できたか (適)</li> <li>質問に対しその場で素早く対応され、委員の意見にも誠実な対応をいただけた。</li> </ul>
高橋	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料は理解できたか (適)</li> <li>現地の状況は理解できたか (適)</li> <li>説明は理解できたか (適)</li> </ul>
中村(洋)	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料は理解できたか (適)</li> <li>現地の状況は理解できたか (適)</li> <li>説明は理解できたか (適)</li> </ul>
増田	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料は理解できたか (適)</li> <li>現地の状況は理解できたか (適)</li> <li>説明は理解できたか (適)</li> </ul>